



四柱推命による性情・対応方法診断-1

大橋のぞみ 1999/05/09

性情

・宝石 繊細型

【長所】

・本質が宝石の人は美しい宝石の如く、上品ですが、大変傷つきやすいのです。つまり、先生、友達やTVなどの影響も受けやすいナイーブな面があります。鋭く相手の出方を判断し、状況に応じて、自分の立場を変えることができ、友人と摩擦を起こすことができません。

【短所】

・気が小さく神経質で疑い深い傾向もありますが、その分忍耐強いのが特徴です。

対応方法

・宝石 繊細・忍耐型

この子供は、細かい所に気がつくのでうまく組織や集団にとけ込みますが、いじめっ子には近寄ろうとしません。今の社会環境を考えると、たくましい、ワンパクな子供と一緒に遊ばせた方が良いでしょう。親も少々の子供同士のケンカなどには関与せず、強さと独立心を育てていくことが重要です。しかし、神仏など精神世界に関心を持つので、宗教的な情操教育が基本です。智謀知略的な経済活動優先のような教育では才能がつぶれます。

授乳

幼児期-授乳

母親とのスキンシップが何より重要です。目を見て授乳することもスキンシップです。黙って授乳しないこと。いつも優しく語りかけること。TVなどを見ながら授乳するのは論外です。

愛情

愛情

この時期に結んだ縁は生涯消えません。逆にこの時代の愛情が足りないと、思春期になって異性に対し異常な性行動をとる傾向があります。つまり親から満たされなかった愛情を他の異性で満足させようとする異常行動をとります。女子高生がワルイ男に騙されて妊娠したり、男性であってもワルイ女に引っかかって責任を取らされたりする事件が起きます。この行動が同性に向けられた場合には、イジメをする側（本心は自分を愛して欲しい）になってしまう場合があります



四柱推命による性情・対応方法診断-2

大橋のぞみ 1999/05/09

保育園

保育園と家での行動が違う

保育園では、無理してXXXXしなければならないという心情で行動している場合にそうなります。情のレベルが成長するまで家では甘やかせてあげましょう。時がくれば、自然に甘えなくなるものです。

五感教育

見る 聞く 触る 味わう 嗅ぐ という五感で自然の豊かさ、神秘、芸術を感じるものです。TVや絵本では、それは感じるできません。しかし親がまずそれに感動する豊かさがないと効果は半減します。花を見ても親が感動する豊かさ何よりこの時期の子供には必要です。

小学校低学年

小学校3年まで

この時期には善悪教育を中心に徹底して行います。学校の成績さえ良ければ誉める親が多いのですが、これでは、成績さえよければ何をやっても良いという身勝手な大人・身勝手なエリートになってしまいます。善悪をハッキリとわからせるための体罰はこの年齢までは構いません。万引きや窃盗などは、近くの交番のお巡りさんに協力してもらって叱ってもらうことも良いでしょう。制服姿の警官は、子供にとっては怖い存在だからです。おとぎ話、神話、童謡、聖書物語など普遍性のある物語で良心に訴えかけるものが良いでしょう。この時大事なことは、親が心情を込めて話すこと。ただの本の棒読みではだめ。

小学校の高学年

小学校4年から中学生まで

親の生き方の真似をする時期です。親の言葉を聞くよりも、親の行動を観察する時期です。暖かい家庭づくり。夢や希望を追求していく段階。自分の住んでいる地域の歴史などの研究を一緒にやることも良いでしょう。四国であれば弘法大師の話や神社の歴史を訪問するのも良いでしょう。北海道なら先住民族のアイヌ人に関する資料館を訪問するのも良いでしょう。物事を理論的に理解しようとするので、体系的に筋が通った話が重要です。親の行動と言うことが一致しなければ子供は親を尊敬できなくなる時期です。子供には勉強しなさいと言いながら親が勉強しないで深夜TVを見ているようでは、子供は納得しません。

中学～高校

高校生になったら

1人前の人間として対応することです。もう親の権威で指示したりすること自体が無意味な年齢です。子供は自分が天から与えられた個性は何なのか？を知って将来設計をする時です。自分の人生に責任を持たなければならない時期です。親の個性や能力では、子供の個性は計ることができません。登校拒否の根本問題は、学校に行かないことではない。学校に行く目標がないことです。目標がないと行動する気にならないのは当然です。目標がないのに、学校に行くのは、ただ給与をもらうためだけに会社に嫌々ながら行くサラリーマン以上に面白くないことです。目標を一緒に探してあげましょう。



四柱推命による性情・対応方法診断 - 3

大橋のぞみ 1999/05/09

1人子の場合の長所と欠点

1人っ子の場合

- ・辛いことに忍耐するタフさが不足、人に頼る癖がつき易い傾向。
親はある程度距離をおいて育てる必要がある。
集会や行事には積極的に参加させる。
また男の1人子は、連れ子のある女性や風俗の女性と結婚するような坊ちゃん
の傾向がある。
- ・1人っ子の利点として親と会話を多くもつので、早く精神が熟するという点もある。

兄弟を差別してしまうと大変なことになります！

兄弟を差別すると

親の気に入る子供をどうしても優先して愛情をかけたくなるものです。しかし、ここには大変危険な罠があるのです。良くあるミスが「〇〇ちゃん、年上なんだから〇〇しなさい」という言い方をすることです。子供は好きで上に生まれてきた訳ではないのいですから、こういった言い方は「じゃあ、今から下の子に生み変えて」といった反発心を持たずだけなのです。

子供には、愛情をかける順番があります。一番上の子を一番重視しなければなりません。一番愛するのが鉄則なのです。これに失敗するとどうなるかと言えば、上の子が下の子をいじめます。つまり兄弟間のイジメは、親の上の子の接し方に問題があるのです。逆に、上の子を一番愛するとどうなるかと言えば、上の子は満足して下の子の面倒を良くみるのです。

具体例

- ・オモチャの1コ1コに所有権をハッキリさせること。
- ・下の子が上の子のモノを黙って取ったりしたら下の子を怒ること。
- ・「お兄ちゃんだから・・・」という文句で叱るのは禁句です。
- ・ケンカになる理由を双方から平等に聞くこと。
- ・なるべくなら兄弟ケンカには親が介入しないこと。